

Do CL Column

性格について

東井晃一

byf01620@nifty.com <http://koufuusuido.cocolog-nifty.com/blog/> <http://fudosha1990.life.coocan.jp/>

私は森信三先生の「修身教授録」を輪読、読後感、近況報告等をする読書会を毎月1回少人数の仲間と実施しています。「長所と短所」という講がテーマであった時に感じたことをはがき通信にして友人に発信しています。以下がその文面になります。投稿するにあたり、多少加筆修正しています。

この「長所と短所」はよく言われるところの両面性がある。長所が短所にもなり、短所が長所ともなる。さて、この長所、短所は誰がどのように見ているのだろうか。対象となる人の心の中をのぞいて、あなたの短所は気の短い点だと易者のようにみているのだろうか。違うだろう、その人の行動を他人が見てその至るところ、至らないところを判断しているのではないだろうか。もしくは、自分で判断しているのだろう。

誰も、自分でさえも心の中の思いや感情で性格を見ているのではなく、行動で判断している。性格を変えようと思えば、この行動で性格は変わるのではないだろうか。

スイスの哲学者、アミエルはこんな言葉を残している。「心が変われば、行動が変わる、行動が変われば、習慣が変わる、習慣が変われば、人格が変わる、人格が変われば運命が変わる、運命が変われば、人生が変わる」

行動、習慣が変われば、人格が変わるということは私も実感するところである。ただ、一つ思うことは、心は変えなくてもいい、行動を変えればいいのだと。行動を変える目的はあるかもしれないが、心を入れ替えないと駄目だとは思わない。いつまでたっても、心など変わらない、否、心は瞬間、瞬間に変わり続けている。逆に行動を変えれば心が変わることもあるだろうが。

昨年7月に亡くなった曹洞宗の元貫主、お誕生寺の板橋住職が座禅に来た人に何故に座禅に来たのかと。その人いわく、「心を磨きに」と。住職いわく、「では、ここに心を出しなさい、ワシが磨いてやると」。

今後も各講のテーマに応じて感じたことなどをCL的にメモしていこうと考えています。

(富山県射水市インストラクター)



今年も八尾風の盆は中止、月曜日に知り合いの神社の月次祭で八尾の方が奉納の越中おわらを演じてくれた